



第25号

こまがた元気会だより



深まる秋。11月もいろいろな活動がありました！

◎代表者等懇談会（11月6日）

駒形小学校の斎藤敦校長をお迎えして学校の近況をお伺いし、「コミュニティスクール」の取組みが進む中、学校と地域の連携・協働がますます大切であるとの理解を深めました。



◎田村市常葉町のざる菊園を見学（11月9日）



「菊の里ときわ」を訪れた花で彩る里づくり部会のメンバーは、約3000株のざる菊に圧倒され、駒形でも負けないぐらいのざる菊園を作ろうとの思い(!?)を新たにしました。

◎お試しウォーキング（11月12日）

来年から「カントリーウォーク（仮称）」の本格実施に向け、関係者は、金川地区戸隠神社の大イチョウ～狐堰～田中地区内のざる菊畑などを見て歩き、コースの構想を練りました。



◎一重陶房庭園での芋煮会（11月13日）



唐沢地区の方々が設営した本格的なテントの中で、参加者は、みそ味豚肉としょうゆ味牛肉の二種類の芋煮鍋、焼き芋に舌鼓を打ち交流を深めました。

◎雄国山麓の森林環境保全を考える講演会（11月27日）

メグスリノキ・巨樹巨木保全協議会の主催により、樹木医の鈴木俊行氏にお話いただき、特に杓子カ入メグスリノキは緊急かつ継続的な保全が必要との提言をいただきました。



令和4年12月1日 発行：こまがた元気会

《連絡先》喜多方市塩川町中屋沢字田中乙3（里の駅こまがた元気館）

電話 080-2805-1050（事務局：大平）

メール koma.genki7.7@gmail.com

《編集協力》NPO法人かけはし（代表理事 石島 来太）喜多方市寺田 4905-21

～ 駒形の見どころ探訪 ～

駒形地区の様々な見どころを不定期で紹介していく本企画！

これまでご紹介した「秘水」シリーズの最終回となります。様々な珍しい植物との出会いと素晴らしい「秘水」の体験を終え、帰路につきました。

雄国山麓三沢入山秘水探訪④（最終回）

朽ちて苔むした倒木の奥にある秘水の湧水口からは、豊富な地下水が妙なる音を響かせて流れ下りている。早速、清水を容器に受けて頂戴する。味覚は全くの主観だが、冷たく、柔らかく、甘い。水中に手を浸しているとき、指が痛くなるほど冷たくなる。摂氏7ないし8度くらいだろうか。滴り落ちる一筋の流れから1.2ℓの魔法瓶を満水にするのに15秒もかからず、三筋流れているから、湧水量は毎分14ℓ程度であろう。地表に現れた伏流水は、細い水路をしばらく形成して、下流で再び地下へと潜ってしまうということだ。水路のゴミを取り除き、朽ちた倒木も森の案内人によって片付けられた。

水路の両側には、山ワサビとミズナの群落が見られる。付近には他に、エゾアジサイ、オオカメノキ（谷ウツギ）、ヤグルマソウ、トリアシショウマなど、実に多彩な植生が見られる。



ミズナの採取の様子

筆者らが秘水に辿り着き、名水を愛で、清水談議に花を咲かせているその間にも、保安林組合長は林道入り口から秘水までの藪を草刈り機で刈払って下さっておられた。お蔭で帰路は藪をこぐことなく実に楽に林道まで戻ることができた。

車で昇ってきた雄国中道地林道の両側には、ヨシバヒヨドリ、山ユリ、シシウド、山ウド、オオマツヨイグサ、チマキザサなどの夏の草花が咲いて一行を迎えてくれた。



清水探訪メンバー集合写真



オオマツヨイグサ



山ユリ



シシウド

